

当施設でワーファリンもしくは直接経口抗凝固薬併用下で大腸ESD
治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

本邦における直接経口抗凝固薬の種類による

大腸粘膜下層剥離術後出血の解析 ABCD-J studyへのご協力をお願い

今回、当施設では、長崎大学病院にて考案されました多施設共同研究である本邦における直接経口抗凝固薬の種類による大腸粘膜下層剥離術(ESD)後出血の解析 ABCD-J studyに参加いたします。そのため、当施設で大腸腫瘍に対してワーファリンもしくは直接経口抗凝固薬併用下で大腸ESD治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。対象となる患者様は2012年1月1日より2021年12月31日までに上記の治療を受けられた患者様となります。本研究は実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

大腸癌の増加とともに大腸内視鏡治療の機会も増えています。また本邦における高齢者の増加により抗凝固薬剤であるワーファリンや直接経口抗凝固薬(DOAC)を内服例も増加しており、そのような症例への内視鏡治療の安全性の検証が望まれます。特に大きな腫瘍を切除する大腸粘膜下層剥離術(ESD)においてはワーファリンや4種類の直接経口抗凝固薬(DOAC)の内服例は内視鏡治療後出血が多いことが報告されていますがその詳細は不明です。本研究では多施設におけるワーファリンおよび4種類のDOAC使用下の大腸ESD例を10年間さかのぼって集積しDOACの種類毎の出血率の差異をワーファリンと比較し検証し、さらにそのリスクファクターを検討することで今後の同治療において適切安全な治療ができるよう解析します。

研究の方法

●対象となる患者さん

対象となる患者さんは以下の通りです。

対象者2012年1月1日から2021年12月31日までの10年間に大腸腫瘍に対して大腸ESDを受けられワーファリンおよびDOACを内服しておられた方

●研究に用いる情報の種類

以下の患者さんの情報を入手し、この研究のデータとして活用します。

- 1) 患者背景（性別、年齢、DOAC、ワーファリンおよび抗血小板薬などの内服状況等）
- 2) ESD治療病変（臨床所見、病理所見）
- 3) 内視鏡切除後経過観察（後出血、穿孔、血栓塞栓症の発生など）

なお情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。本研究では匿名化された情報は共同研究期間である外部機関に提供がなされます。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧は可能です。ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。

・情報の保存および二次利用について

本研究に用いられる情報（診療記録、各種文書類および電子的記録）は、論文等の発表から10年間保管し、適切に廃棄します。本研究において取得した情報は、研究代表者である京都府立医科大学 消化器内科学 吉田直久の下、鍵のかかるロッカーに保管、責任をもって管理します。パソコンで管理する場合、ネットワークから遮断した状態で行います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究代表者：京都府立医科大学 消化器内科学 講師 吉田 直久

研究担当者：京都府立医科大学 消化器内科学 助教 井上 健

個人情報管理者：京都府立医科大学 消化器内科学 講師 吉田 直久

研究事務局：長崎大学 消化器内科

事務局責任者：長崎大学 消化器内科 准教授 山口 直之

以下多機関共同研究の実施体制を記載します。また、各機関における本研究の実施にあたり代表施設である京都府立医科大学倫理委員会にて一括審査を経ています。

北海道東北エリア7施設

札幌医科大学 吉井新二

北海道大学 小野尚子

小樽掖済会病院 勝木伸一

福島県立医科大学 引地拓人 川島一公

自治医科大学 林 芳和 森川昇玲
会津医療センター 根本大樹 中島勇貴
仙台厚生病院 平澤 大
関東エリア8施設
癌研有明病院 斎藤彰一 山本浩之
国立がん研究センター中央病院 斎藤 豊 高丸博之 水口康彦
順天堂大学 村上 敬
東京慈恵会医科大学 玉井尚人
日本大学 池原久朝
東京大学 辻 陽介
国立がん研究センター東病院 池松弘朗 新村健介 村野竜朗
群馬大学 浦岡俊夫
北陸東海エリア4施設
石川県立中央病院 土山寿志 辻重継
名古屋大学 山村健史
静岡県立静岡がんセンター 高田和典
昭和大学北部病院 林 武雅
近畿エリア17施設
京都府立医科大学 吉田直久
西陣病院 稲垣恭和
京都第一赤十字病院 稲田 裕
JR大阪鉄道病院 小木曾聖
近江八幡医療センター 曾我幸一
綾部市立病院 長谷川大祐
愛生会山科病院 村上貴彬
大津市民病院 寄木浩行
市立奈良病院 福本晃平
京都市立病院 元好貴之
大阪国際がんセンター 竹内洋司
和歌山赤十字病院 赤松拓司
佐野病院 佐野 寧
近畿大学 米田頼晃

神戸大学 森田圭紀 賀来英俊

大阪市立大学 福永周生

和歌山大学 井口幹崇

中国四国エリア4施設

広島大学 岡 志郎

岡山大学 山崎泰史

香川大学 小原英幹

徳島大学 岡本耕一

九州エリア8施設

長崎大学病院 山口直之

長崎医療センター 西山 仁

佐世保市総合医療センター 福田浩子

鹿児島大学 佐々木文郷

大分大学 水上一弘

熊本中央病院 庄野 孝

佐賀大学 下田 良

宮崎大学 三池 忠

計 48施設

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年5月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

研究責任者： 京都府立医科大学消化器内科 講師 吉田 直久

電話：075-251-5519